

一般社団法人 日本物理学会
2014 年事業報告
(2014 年 1 月 1 日～12 月 31 日)

目次

- 1. 事業概要
- 2. 各事業詳細資料 (附属明細 1) 処務詳細資料
 - 2-1. 学術講演会の開催・後援等 ・総会・役員会等に関する事項
 - 2-2. 国際交流・協力活動 ・契約・入札・他に関する事項
 - 2-3. 物理学に関する普及・啓発活動 (附属明細 2) 会員の異動状況
 - 2-4. 本会の目的達成のために重要な活動 (附属明細 3) 事務局の現況
 - 2-5. 刊行物 (実施事業を含む)

1. 事業概要

主な活動内容は

- 1) 支部の発信力を高めるための支部活動の支援
 - 2) 会員サービスの向上のための新しいデータベースの整備
 - 3) 英文誌刊行事業の整備
 - 4) 大会のあり方についての検討
 - 5) 他学協会・団体との連携の強化
 - 6) 社会への物理学情報の発信力強化と学会活動の広報
 - 7) 国際的活動体制の強化
 - 8) 物理学関連の教育、人材活用・支援を通じた社会連携
 - 9) 学会活動を支える組織・財政基盤の整備
 - 10) 日本物理学会誌の刷新と電子版公開
- である。以下にそれぞれを概観する。

1) 支部の発信力を高めるための支部活動の支援

支部活動の活性化や新制度下における支部運営に齟齬が生じないようにするために、従来から秋季大会の際に行っている懇談会に加えて、第 68 期から物理学会事務局会議室(湯島)で開催している支部長会議を年 2 回とし、5 月と 11 月に開催した。そこでは、支部規約、役員名簿、活動報告、次年度の企画予算などの確認を行った。各支部から支部会員への広報手段として、会誌送付先で決まる支部会員あての同報メールのサービスを開始した。各支部から事務局に連絡があった行事予定や報告を直ぐにホームページ上で広報すること等、各支部間の情報共有の充実に努めた。また、ホームページに「支部情報」のバナーを新設し、各支部のページにアクセスしやすくした。

2) 会員サービスの向上のための新しいデータベースの整備

IT 時代にふさわしい会員サービス向上のための新しい会員データベースの整備は、開発が滞っていた前の業者との契約を解除し、新規に「会員データベースシステムプロジェクトチーム」を立ち上げ、専門の IT コーディネーターのアドバイスを受けながら、新規まき直しでシステム新規発注の準備に入った。まず、会員管理に関する事務局の業務を洗い出し、RFI (Request for Information) を関係企業に対して行い、コストなどの見積もりをしたのち、RFP (Request for Proposal) を入札の形で募集した。また、応札各社の中から優先交渉先を決定することを任務とする、「会員システム選定委員会」を立ち上げた。

3) 英文誌刊行事業の整備

・2013 年に本格スタートした PTEP については優れた論文が多数掲載されるように PTEP 編集委員会を中

心に PTEP 企画委員会、及び刊行委員会の協力のもと努力を続けた。その結果、2014 年は 2013 年に比べ 2 割ほど掲載論文数が増加した。この実績をもとに今後も、機関支援の働きかけを行っていく。これと並行して、2014 年度分の交付が決定された科研費（オープンアクセス刊行支援、2013 年度より 5 年間交付予定）を有効活用し、PTEP のより一層の国際的認知度向上を計った。こうした PTEP の事業を行う上で、OUP (Oxford University Press) と緊密な連携をとった。

- ・ JPSJ は、本年度から 5 年間の予定で科研費「国際情報発信強化(A)」に採択された。これにより掲載論文の質をより一層高め、国際的認知度向上を図った。また、出版事業の財政状況、および消費税率の変更を考慮して、購読料の値上げを決定した。今後これにより購読数が変わるかどうかを見極める。

- ・ 新規事業として、国際会議のプロシーディングスを出版するため、本年度から新雑誌“JPS Conference Proceedings”の刊行を開始した。論文の出版形態はオンライン出版のみとし、オープンアクセスとした。今年度、すでに 3 つの会議の会議録を発行し、上々のスタートをきった。さらに JPSJ、JPS Conference Proceedings のオンラインプラットフォームである Atypion Literatum の改善を昨年度に引き続き行った。一方、旧サーバーは本年 11 月をもってサービスを停止した。

- ・ ここで記述した英文誌 3 誌の数値的な実績については、各事業詳細資料 2-5-2、2-5-3、2-5-4 を参照されたい。

4) 大会のあり方についての検討

- ・ 大会参加者へのサービス向上策として、第 70 回年次大会（2015 年）より概要集の電子化を行う事を決定した。講演概要集は、紙媒体を廃止し Web 掲載として、希望者にはすべての領域の概要へのアクセス権をご購入いただくとともに、記録用 DVD も作成し、購入できるようにした。また、大会開催の収支改善のために年次大会および秋季（春季）大会参加費の一律 1,000 円の値上げも行った。

- ・ 大会の国際化推進策としては、留学生、外国人研究者の大会への参加の利便性向上のために、全講演の英語プログラムを web に掲載し、案内の英語ページも構成は変えず英文を大幅改訂し、英語での講演スライド推奨を行った。また、日本に滞在している外国人研究者の企画講演、周辺国の研究者を交えた企画シンポジウムの開催を促した。

- ・ 各領域内の活性化や領域間の流動性を高めるため、大会中に各領域でインフォーマル・ミーティングを開催して頂き、領域名称について話し合うことをお願いした。

5) 他学協会・団体との連携の強化

- ・ 刊行センターの運営 応用物理学会と物理学会の各々の会長・副会長・事務局長による会合を開き、職員の業務内容や配置について協議した。今後定期的な会合を持ちお互いの情報を交換し、同センターの円滑な運営を推進するとともに、それ以外の問題についても取り上げることとした。

- ・ 男女共同参画 国内では日物応物男女共同参画連絡会や男女共同参画学協会連絡会、海外では AAPPS-Women in Physics ワーキンググループや IUPAP-Women in Physics ワーキンググループ(WG5) と協力して活動を行うため関係を維持、発展させた。

- ・ 日本学術会議への協力 日本学術会議から依頼のあった大学教育の質保証のための参照基準を物理教育について作成する作業を行った。2015 年に完成予定である。

- ・ 物理オリンピック 2022 年に予定されている国際物理オリンピックの日本開催にむけての連携のため、特定非営利活動法人 物理オリンピック日本委員会の理事に、本会理事が就任した。

- ・ 物理教育活動 物理教育研究会と共催で行っている「高校物理の授業に役立つ基本実験講習会」の東京での開催について、同研究会と協定を結んだ。なお、地方での開催は日本物理教育学会の支部と本学会支部との共同主催または共催で行われている。

6) 社会への物理学情報の発信力強化と学会活動の広報

- ・ 科学セミナー（主題：非平衡）、公開講座（主題：プラズマ）を開催したが、ともに高い関心が寄せられ、複数回の開催や有料でも構わないのでより詳しい講演資料集の配布などの希望があった。また、今回の公開講座から、講演中の動画をホームページ上に掲載した。

- ・ Jr. セッションは、発表件数はこれまで最大の 54 件となり、規模拡大の様相を呈している所以对策の準備が必要である。

・日本物理学会のホームページについては、将来の本格改訂を見据えながら、トップページの整理・改訂を行った。具体的には、左列を会員向け、中央列を最新情報全般、右列を一般向けに整理し、また、「支部」や「領域」のページへのアクセスの向上を図った。コンテンツの拡充については、科学セミナー・公開講座の YouTube 動画を公開し、物理教室(小学生高学年・中学生向け)・世田谷区中学生講座の実験内容や教室の様子を写真入りで説明、領域のページ内に領域ではない「物理と社会」のページを新設し、その枠で行われた年次大会シンポジウムのスライドが掲載できるようにした。

・2014 年ノーベル物理学賞を、青色 LED 発明の業績で日本人 3 人が受賞された。発表直後に学会長が祝意を表するとともに、ノーベル財団から一部資料の提供を受けて学会ホームページに授賞理由などを紹介した。また会誌 12 月号には、学界ニュースとして詳しい紹介記事を掲載した。

7) 国際的活動体制の強化

・AAPS (Association of Asia Pacific Physical Societies) の運営への積極的な参画の一環として、今期 Bulletin 編集委員長に永宮正治氏(日本物理学会第 66 期会長)が就任した。また、隔月発刊の AAPS Bulletin のお知らせを日本物理学会のホームページから会員に知らせるようにするなどの対応を行った。

・男女共同参画に関しては、AAPS や IUPAP の活動を継続、発展させた。

8) 物理学関連の教育、人材活用・支援を通じた社会連携

・キャリア支援活動の一環として「理工系人材のためのキャリアフォーラム」を東京、および大阪で開催した。どちらも約 100 名の参加があり、90%以上の参加者がアンケートにこのフォーラムが役立つと回答し、さらに地方や大会期間中での開催を希望するなど、本事業の拡大を望んでいることが判明した。

・小中学生向けの「自然の不思議—物理教室」、中学生向けの「世田谷区中学生講座(才能の芽を育てる体験学習:サイエンス・ドリーム)」、高校教師および大学生向けの「高校物理の授業に役立つ基本実験講習会」を関係諸団体と共同で開催した。

・男女共同参画 女子中高生夏の学校の企画・運営に参加し、関西科学塾を共催すること等により、物理教育の改善に寄与した。

9) 学会活動を支える組織・財政基盤の整備

・学会が直面している累積的赤字解消を目指し、積極的な活動を行った。すなわち、2013 年度の「財政問題検討ワーキンググループ」の活動を引き継ぎ、2014 年度は理事会の下に「財政問題対策ワーキンググループ」を設け、物理学会の近年の赤字解消のための具体的施策について検討した。会長、副会長、会計理事、大会担当の庶務理事、刊行委員長と事務局よりの数名をメンバーに、4 月 10 日、5 月 1 日、8 月 22 日の計 3 回開催した。

・同ワーキンググループでは、1) 過去 30 年間据え置かれてきた年会費について、2016 年度会費より消費税 8%に対応した一律 1,000 円の値上げを行う、2) サービス向上と抱き合わせた形で、学会参加費の値上げと概要集紙版の廃止を行う、3) JPSJ については、消費税分を外税方式に変更、紙版の購読料を値上げ、4) JJAP と関連した職員人件費の扱い等を検討した。その結果、1)については理事で審議し第 95 回定時総会に提案すること、2)については第 70 回(2015)年次大会から実施することを理事会で決定し、3)については刊行委員会で検討した 2015 年分からの値上げの提案を理事会で承認し、4)については連携を取りつつ応用物理学会との協議で、職員一人の応用物理学会への移籍と一部業務の同学会への委託をすることとした。

・これらの方針は理事会で承認され、1)~3)については、会誌 8 月号で詳細説明するとともに、秋季大会会場で理事会主催の特別インフォーマルミーティングを開いてさらなる説明を行った。

・会員数の漸減の原因を分析するとともに、特に学生会員、一般会員(大学院生)の大学卒業、あるいは課程修了後に退会することなく、引き続き物理学会の情報が得られるような「会友」(仮称)制度、ならびに高校生以下を対象とした「ジュニア会友」(仮称)制度などを検討してきた。会員データベースシステムが導入される 2016 年中の導入を目指して継続審議する。

・事務局職員の人件費については、「公務員並み」を念頭に、今後も継続して検討していくことが確認された。

10) 日本物理学会誌の刷新と電子版公開

・会誌をより会員にとって読み易くするため、第 69 巻第 1 号より全面改訂を行い、フルカラーページの増加、リードページ（拡大アブストラクト）の導入、「現代物理のキーワード」欄の創設など新しいスタイルでの会誌の刊行を行った（3 小特集 8 記事、最近のトピックス 3 記事、現代物理のキーワード 14 記事、交流 5 記事、解説 12 記事、最近の研究から 27 記事、実験技術 3 記事、など）。また、新しいスタイルの特別企画として連載型のシリーズの試みを行った（6 記事）。さらに、会員相互の交流、情報交換の場としての「ラ・トッカータ」欄の位置づけを強化した。学会の発信力強化としては、HP 運営小委員会と連携し、会誌記事の電子版公開などを実現した。また、身近な現象の物理学や企業の研究からの報告など、より広い会員の興味を集める工夫をし、次年度から掲載を始める予定である。

・これら会誌の刷新やリスク管理徹底のために、会誌編集委員会の諸手続や掲載に関する決定権限等の制度をより一層整備することとした。

2. 各事業詳細資料

2-1. 学術講演会の開催・後援等	
2-1-1-1. 第 69 回年次大会	<p>開催領域：素粒子論領域、素粒子実験領域、理論核物理領域、実験核物理領域、宇宙線・宇宙物理領域、ビーム物理領域、領域 1～13、物理と社会</p> <p>会期：3 月 27 日（木）～30 日（日）</p> <p>会場：東海大学湘南キャンパス（神奈川県平塚市北金目 4 丁目 1 番 1 号）</p> <p>講演数：3,853 件</p> <p>内訳：原著講演 3,595 件、シンポジウム講演 189 件、招待・企画・チュートリアル講演 22 件、日本物理学会若手奨励賞受賞記念講演 45 件、総合講演 2 件）</p> <p>参加登録者数：5,800 名</p> <p>内訳 会員：5,506 名（一般 3,505 名、学生 2,001 名） 非会員：294 名（一般 124 名、学生 170 名）</p> <p>託児室：5 家族 6 名（延べ 12 名）</p>
2-1-1-2. 秋季大会	<p>【素粒子・素粒子実験・宇宙線・宇宙物理領域関係大会】</p> <p>会期：9 月 18 日（木）～21 日（日）</p> <p>会場：佐賀大学本庄キャンパス（佐賀県佐賀市本庄 1）</p> <p>講演数：668 件</p> <p>内訳：原著講演 636 件、シンポジウム講演 22 件、招待・企画講演 10 件</p> <p>参加登録者数：956 名</p> <p>内訳：会員：912 名（一般 538 名、学生 374 名）非会員：44 名（一般 12 名、学生 32 名）</p> <p>託児室：2 家族 2 名（延べ 6 名）</p> <p>【物性関係を含む上記および核物理領域と領域 2 以外の大会】</p> <p>会期：9 月 7 日（日）～10 日（水）</p> <p>会場：中部大学春日井キャンパス（愛知県春日井市松本町 1200）</p> <p>講演数：2,529 件</p> <p>内訳：原著講演 2,422 件、シンポジウム講演 76 件、招待・企画講演 11 件</p> <p>参加登録者数：3,515 名</p>

	<p>内訳 : 会 員 : 3,377 名 (一般 2,030 名、学生 1,347 名) 非会員 : 138 名 (一般 30 名、学生 108 名) 託児室 : 1 家族 1 名 (延べ 2 名)</p> <p>【核物理領域】 アメリカ物理学会核物理分科会と合同開催 会期 : 10 月 7 日(火)~11 日(土) 会場 : ハワイ・ハワイ島 ヒルトン・ワイコロア・ヴィレッジ 講演数 : 860 件 内訳 : 原著講演 427 件 シンポジウム講演 266 件 招待・企画講演 167 件 参加登録者数 : 約 1,000 名以上 (うち日本からは約 350 名以上)</p> <p>【領域 2】 プラズマコンファレンス 2014 主催 : 日本物理学会、プラズマ・核融合学会、応用物理学会 会期 : 11 月 18 日(火)~21 日(金) 会場 : 朱鷺メッセ (新潟市中央区万代島 6-1) 講演数 : 823 件 (コンファレンス全体として) 内訳 : 原著講演 671 件 それ以外 : 152 件 参加登録者数 : 992 名 (コンファレンス全体として) 内訳 : 会員 904 名 (一般 529 名 学生 375 名) (主催団体会員) 非会員 78 名 (一般 51 名 学生 27 名) 招待者 10 名</p>
2-1-2. 各種国内会議	155 件の国内会議の共催・協賛・後援を行なった。
2-2. 国際交流・協力活動	
2-2-1. 国際会議の共催	<p>会議名 : 放射性同位体科学国際会議 主催 : 理化学研究所 会期 : 2014 年 6 月 1 日 (日) ~6 月 6 日 (金) 場所 : 伊藤国際学術研究センター (東京大学内) 本会代表運営委員 : 延與秀人 (理研) 参加者数 : 400 名 なお、上記 1 件の国際会議以外に 29 件の国際会議の協賛・後援等を行なった。</p>
2-2-2. その他の国際活動	<p>●AAPPS (アジア・太平洋物理学連合) メンバー学会としての活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AAPPS 委員会の開催 ・AAPPS 理事会への派遣 ・AAPPS Bulletin 編集会議のWeb 会議開催の協力 ・会誌・ホームページへの AAPPS 活動の掲載 <p>● APS March Meeting 2014 ヘブース出展 (3 月)</p> <p>● 海外からの投稿者への JPSJ 掲載料金援助 (一部)</p>
2-3. 物理学に関する普及・啓発活動	
2-3-1. 科学セミナー	<p>企画名 : 非平衡の世界 ―凝縮系から地震、経済、生命まで 会期 : 8 月 6 日 (水)、7 日 (木) 会場 : 東京大学駒場キャンパス 数理科学研究科棟 大講義室 演題 : 非平衡の世界への誘い 外 9 件 聴講料 : 無料 聴講者数 : 156 名 (8/6)、139 名 (8/7) ※講師より許可された講演はビデオ撮影し、本会ホームページ上で</p>

	講演動画を公開した。
2-3-2. 公開講座	<p>【理事会企画】 企画名： プラズマの物理と応用 ～天体・核融合・産業・医療～ 会期：11月15日（土） 会場：東京大学本郷キャンパス小柴ホール 演題：天体のプラズマ現象 外3件 聴講料：無料 聴講者数：152名 ※講師より許可された講演はビデオ撮影し、本会ホームページ上で講演動画を公開した。</p>
2-3-3. 第10回 Jr.セッション (主に高校生による講演発表会)	<p>期日：3月28日（金） 場所：東海大学湘南キャンパス 松前記念館講堂（第69回年次大会年次大会会場） 講演発表数：54件 内訳（口頭発表：9件、ポスター発表：45件）</p>
2-3-4-1. 年次大会市民向け講演会	<p>第69回年次大会（東海大学） 期日：3月30日（日）14:00～16:30 場所：東海大学湘南キャンパス 松前記念館 講堂 企画名：市民科学講演会 ・村山 斉（東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構 機構長） 「宇宙に終わりはあるか」 ・川村 隆（株式会社 日立製作所 会長） 「源は研究開発」 参加者数：約450名</p>
2-3-4-2. 秋季大会市民向け講演会	<p>秋季大会（佐賀大学） 期日：9月21日（日）14:00～15:30 場所：佐賀県立男女共同参画センター 佐賀県立生涯学習センター「アバンセ」大ホール 企画名：市民科学講演会 ・大栗 博司（カリフォルニア工科大学 理論物理研究所 所長およびカリブ冠教授、東京大学カブリ数物連携宇宙機構 主任研究員） 「重力とは何か」 参加者数：約250名</p> <p>秋季大会（中部大学） 期日：9月6日（土）14:00～17:00 場所：名古屋大学工学部 IB 電子情報館大講義室 企画名：市民科学講演会 ・鯉沼秀臣（物質・材料研究機構 名誉顧問） 「地球を救う革新的材料技術 ―生命・エネルギー・環境をつなぐ」 ・細野 秀雄（東京工業大学応用セラミックス研究所 教授） 「小説よりも奇なり：物質研究の醍醐味」 参加者数：約130名</p>
2-3-5. その他	<p>●物理教育シンポジウム ※物理学分野の参照基準作成と関連した企画とするため（参照基準作成作業中であるため）、開催を2015年3月に延期した。</p>

- 第 69 回年次大会理事会企画シンポジウム（東海大学湘南キャンパス）
 1. 企画名：物理における次世代育成 ー裾野を広げるために
会期：3月27日(木)
講演数：8件
 2. 企画名：福島第一原発事故への学術の関わり ～3年間の活動と今後
会期：3月29日(土)
講演数：8件
- 第 19 回日本物理学会論文賞
5編の論文を表彰した。
授賞論文の代表者にはケース入り賞状と賞状の電子ファイルを贈呈した。
- 第 9 回日本物理学会若手奨励賞
46名の受賞者を決めた。
授賞者にはケース入り賞状を贈呈した。
- 自然の不思議 ー 物理教室
共同主催：日本物理教育学会・国立科学博物館
開講日（計6回）：6月7日(土)、7月5日(土)、7月19日(土)、
7月26日(土)、8月16日(土)、8月30日(土)
講座名：静電気の性質を探ってみよう 外5回
場所：国立科学博物館（上野本館 地球館 3階実験実習室）
対象：小学5年生～中学3年生
※各回の教室の様子や実験の一部を、写真付きで本会ホームページに公開した。
- 世田谷区中学生講座（才能の芽を育てる体験学習：サイエンス・ドリーム）
主催：世田谷区教育委員会（当会は協賛）
開講日（計3回）：10月18日(土)、11月15日(土)、
12月6日(土)
講座名：お弾（はじ）きが衝突すると？ 外2回
場所：国立大学法人 電気通信大学
対象：世田谷区立中学校の生徒
※当会物理教育委員会・委員が講師を務めた。
※各回の教室の様子や実験の一部を、写真付きで本会ホームページに公開した。
- 基礎実験講習会（高校物理の授業に役立つ基本実験講習会：東京会場）
共同主催：物理教育研究会（APEJ）、日本物理教育学会、応用物理学会
会期：7月20日(日)～7月21日(月・祝)
会場：麻布高等学校
実験項目：台車に働く力と運動 外9項目
対象：現職の物理(理科)教員、物理(理科)教員を志望する学生 他
※本会支部（北海道支部、東北支部、新潟支部、大阪支部、九州支部）においても日本物理教育学会、物理教育研究会（APEJ）他との共催等により札幌、仙台、新潟、大阪、福岡で開催した。

2-4. 本会の目的達成のために重要な活動

<p>2-4-1. キャリア支援センター</p>	<p>センター主催のキャリア支援イベントとして下記を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●私立中高向け「理系教員選考会」 <ul style="list-style-type: none"> 1月12日(日) 於 お茶の水女子大学 理学部 教員志望の物理系人材のために、2014年春からの採用をめざして私立の中高の担当者と理系人材が直接面談する機会を設けた。参加者は約110名であった。 ●研究会「医学物理士の現状と課題」 <ul style="list-style-type: none"> 11月2日(日) 於 京都大学基礎物理学研究所 医学物理方面への物理系人材のキャリアパスの現状と将来につき、関係者に講演してもらい、この方面のキャリアパスの今後の可能性につき意見交換を行った。 ●理工系(物理関連分野)人材のためのキャリアフォーラム <ul style="list-style-type: none"> 11月15日(土) 於 東京大学理学部(参加者約80名) 11月29日(土) 於 大阪大学豊中理学部(参加者約50名) 前半でキャリアガイダンスとして物理系人材が社会で活躍するにあたって参考となる講演を2件行い、後半では数社の企業から代表者が来て理系人材がそこでどのように活躍しているかを紹介してもらった。その後に質疑応答時間を十分にとり、参加者の今後のキャリア開発の参考とした。 <p>これらのイベント以外には、Web やメールを通じたキャリア支援関連情報の広報活動を行った。</p>
<p>2-4-2. 協力活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●「日本技術者教育認定機構(JABEE)」関係 <ul style="list-style-type: none"> ・JABEE 物理・応用物理学関連分野における2014年度認定継続審査を実施 ・JABEE 理事、認定・審査調整委員会、審査事務連絡会、拡大運営委員会の各委員等を派遣 ●男女共同参画関係 <ul style="list-style-type: none"> ・The 5th IUPAP International Conference on Women in Physics(ICWIP2014) 国際会議(カナダ)に3人参加 ・シンポジウム「物理における次世代育成―裾野を広げるために」(日本物理学会年次大会)開催 ・女子中高生夏の学校2014の企画、運営、および参加 ・第12回男女共同参画学協会連絡運営委員会とシンポジウム参加 ・AAPPS 男女共同参画委員会(カナダ)に3人参加 ・日本物理学会秋の分科会(素粒子原子核、10月、ハワイ)におけるWomen in Physics 会議の企画と参加 ・日物応物男女共同連絡会会議を開き、男女共同参画の国際活動の準備を実施 ・学会誌の「男女共同参画推進委員会だより」で広報活動を実施 ●受賞候補等推薦委員会関係 <ul style="list-style-type: none"> ・第55回藤原賞、平成27年度文部科学大臣表彰若手科学者賞、第11回(平成26年度)日本学術振興会賞、第5回(平成26年度)日本学術振興会育志賞、2014年度山田科学振興財団研究援助、第16回(2014年度)サー・マーティン・ウッド賞、第12回(平成27年度)本多フロンティア賞、第36回(平成27年度)本多記念研究奨励賞、第27回(平成26年度)松尾学術研究助成、第55回(平成26年度)東レ科学技術賞、第55回(平成26年度)東レ科学技術研究助成、第20回(2015年)日本物理学会論文賞の各賞・助成に候補者・候補論文を推薦

	<p>●その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定非営利活動法人物理オリンピック日本委員会理事派遣 ・世界工学会議 (WECC2015) 実行委員会委員派遣 ・放射線医学総合研究所重粒子線がん治療装置等共同利用運営委員会等委員派遣 ・世界工学会議 WECC2015 実行委員会への委員派遣 ・日本学術会議 (IC0 分科会) が中心組織の国際光年 (International Year of Light, IYL2015) への参加決定 ・Acta Materialia 物理学会代表の交代にあたり新代表を推薦
2-4-3. 物理系学術誌刊行センター(PCPAP)	<p>応用物理学会と協同して運営を行った。</p>
2-4-4. 支部活動	<p>●2014 年秋季大会中部大学会場にて支部長懇談会 (9 月 9 日) を、本会事務局会議室にて支部長会議 (第 1 回 : 5 月 22 日 / 第 2 回 : 11 月 20 日) を開催した。</p> <p>●支部例会、支部特別企画等 次のとおり、各支部において適宜開催した (支部主催事業等、主な事業を記載)。</p> <p>【北海道支部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支部講演会 <ul style="list-style-type: none"> …会期 (計 6 回) : 2 月 14 日 (金) / 9 月 16 日 (火) / 10 月 16 日 (木) / 10 月 28 日 (火) / 11 月 7 日 (金) / 11 月 13 日 (木)、会場 : 北海道大学 ・高校物理の授業に役立つ基本実験講習会 in 北海道 <ul style="list-style-type: none"> …会期 : 1 月 8 日 (水)、会場 : 札幌北高等学校、共同主催 : 日本物理教育学会北海道支部 <p>【東北支部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前授業 <ul style="list-style-type: none"> …会期 (計 15 回) : 2 月 13 日 (木) / 5 月 28 日 (水) / 6 月 4 日 (水) / 6 月 19 日 (木) / 8 月 20 日 (水) / 9 月 11 日 (木) / 9 月 12 日 (金) / 9 月 19 日 (金) / 10 月 18 日 (土) / 10 月 21 日 (火) / 10 月 22 日 (水) / 10 月 24 日 (金) / 11 月 12 日 (水) / 11 月 15 日 (土) / 11 月 29 日 (土)、会場 : 宮城県仙台東高等学校 / 宮城県松山高等学校 / 宮城県松山高等学校 / 茨城県立竜ヶ崎第一高等学校 / 東北学院高等学校 / 宮城県岩出山高等学校 / 岩手県立水沢高等学校 / 山形県立鶴岡南高等学校 / 福島県立会津高等学校 / 岩手県立福岡高等学校 / 宮城県石巻高等学校 / 宮城県角田高等学校 / 岩手県立一関第一高等学校 / 秋田県立本荘高等学校 / 栃木県立石橋高等学校 / 福島県立安積高等学校 ・高校物理の授業に役立つ基本実験講習会 in 仙台 <ul style="list-style-type: none"> …会期 : 12 月 20 日 (土)、会場 : 宮城県宮城野高等学校、主催 : 日本物理教育学会東北支部、共催 : 物理教育研究会 (APEJ)、後援 : 学術図書出版社 ※当会東北支部は共催 <p>【新潟支部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新潟支部例会 <ul style="list-style-type: none"> …会期 : 12 月 13 日 (土)、会場 : 新潟大学 ・高校物理の授業に役立つ基本実験講習会 <ul style="list-style-type: none"> …会期 : 11 月 30 日 (日)、会場 : 新潟大学、共同主催 : 物理教育研究会 (APEJ) / 新潟大学 / 新しい理科教育を研究する会、共催 : 日本物理教育学会

【北陸支部】

- ・北陸支部定例学術講演会
…会期：12月13日(土)、会場：福井大学
- ・特別講演会
…会期(計8回)：4月2日(水)／6月26日(木)／7月17日(木)／11月21日(金)／11月26日(水)／12月15日(月)／12月16日(火)／12月19日(金)、会場：富山大(6/26・7/17)／金沢大(4/2・12/16)／北陸先端大(12/19)／福井大(11/21・11/26・12/15)

【名古屋支部】

- ・支部委員会
…会期：10月10日(金)、会場：名古屋大学
- ・市民科学講演会
…テーマ：「私たちの生活をかえる物質科学」、会期：9月6日(土)、会場：名古屋大学、共催：名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部／中部大学、後援：愛知県教育委員会／岐阜県教育委員会／三重県教育委員会／名古屋市教育委員会／春日井市教育委員会

【京都支部】

- ・支部委員会
…会期：8月27日(水)、会場：京都大学
- ・親子理科実験教室
…会期(計10回)：4月20日(日)／5月18日(日)／6月8日(日)／6月15日(日)／7月6日(日)／7月27日(日)／8月2日(土)～3日(日)／8月16日(土)～17日(日)／10月26日(日)／12月7日(日)、会場：京都大学、共同主催：知的人材ネットワークあいんしゅたいん／京都大学理学部)
- ・キャリア支援のための交流会
…テーマ：「物理学と疫学・統計学の出会い」、会期：8月27日(水)、会場：京都大学、共同主催：知的人材ネットワークあいんしゅたいん
- ・科学交流セミナー
…テーマ：「医学物理士の現状と課題」、会期：11月2日(日)、会場：京都大学、共同主催：日本物理学会大阪支部／知的人材ネットワークあいんしゅたいん／日本物理学会キャリア支援センター

【大阪支部】

- ・大阪支部懇談会
…会期：12月21日(日)、会場：大阪大学
- ・支部講演会
…会期(計7回)：1月21日(火)／2月14日(金)／6月23日(月)／8月1日(金)／8月29日(金)／12月9日(火)／12月12日(金)、会場：甲南大学(1/21・8/29)、大阪市立大学(2/14・8/1・12/9)、スプリング8(6/23・12/12)
- ・「青少年のための科学の祭典」大阪大会(サイエンスフェスタ2014)
…会期：8月23日(土)・24日(日)、会場：ハービスホール、共同主催：「青少年のための科学の祭典」大阪大会実行委員会／日本科学技術振興財団・科学技術館／日本物理教育学会

	<p>近畿支部／大阪市教育委員会／大阪市立科学館／関西サイエンス・フォーラム／読売新聞社／大阪科学振興協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第30回湯川記念講演会 <ul style="list-style-type: none"> …会期：10月12日(日)、場所：大阪大学、演題：「物質から生命への道」外1件、主催：大阪大学総合学術博物館湯川記念室、後援：日本物理教育学会近畿支部 ※当会大阪支部は共催 ・科学交流セミナー <ul style="list-style-type: none"> …詳細は京都支部と同内容 ・大阪支部公開シンポジウム <ul style="list-style-type: none"> …テーマ：「サイエンスからテクノロジーへー役に立つ物理への出帆ー」、会期：12月21日(日)、会場：大阪大学、協賛：日本物理教育学会近畿支部、後援：兵庫県教育委員会／大阪府教育委員会／和歌山県教育委員会／大阪市教育委員会 ・高校物理の授業に役立つ基本実験講習会 <ul style="list-style-type: none"> …会期：12月21日(日)、会場：京都府立桃山高等学校、共同主催：日本物理教育学会近畿支部、協賛：京都府理化学協会／大阪府高等学校理化教育研究会、後援：京都府教育委員会 <p>【中国支部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応用物理・物理系学会中国四国支部合同学術講演会 <ul style="list-style-type: none"> …日時：7月26日(土)、会場：島根大学、共同主催：応用物理学会中国四国支部／日本物理学会四国支部／日本物理教育学会中国四国支部／日本光学会中国四国地区／2014年度支部学術講演会実行委員会 <p>【四国支部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応用物理・物理系学会中国四国支部合同学術講演会 <ul style="list-style-type: none"> …詳細は中国支部と同内容 ・学術講演会 <ul style="list-style-type: none"> …会期(計4回)：1月24日(金)、3月6日(木)、6月18日(水)、12月2日(火)、会場：愛媛大学(1/24・12/2)／香川大学(3/6)／高知大学(6/18) ・第22回かがわけん科学体験フェスティバル <ul style="list-style-type: none"> …会期：11月9日(日)、会場：香川大学 ※当会四国支部は協賛 <p>【九州支部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州支部例会 <ul style="list-style-type: none"> …会期：12月6日(土)、会場：崇城大学 ・特別講演会 <ul style="list-style-type: none"> …会期：8月22日(金)、会場：熊本大学 ・高校物理の授業に役立つ基本実験講習会 in 福岡 <ul style="list-style-type: none"> …会期：11月23日(日)、会場：福岡大学、共同主催：福岡県高等学校物理部会／日本物理教育学会九州支部、共催：物理教育研究会(APEJ)／科学教育ネットワーク in 福岡／理科カリキュラムを考える会
2-4-5. 情報・資料公開	<ul style="list-style-type: none"> ●図書雑誌および物理学史資料の供覧 必要に応じて実施した。 ●会誌の寄贈交換：国内、国外
2-5. 刊行物(実施事業を含む)	
2-5-1. 日本物理学会誌	<p>【公益目的支出計画実施事業】 第69巻第1号～12号を刊行した。A4冊子版、月刊、</p>

	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>総数</td> <td>月平均</td> <td>月予定数</td> </tr> <tr> <td>ページ数</td> <td>1208</td> <td>101</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>刊行部数</td> <td>202,010</td> <td>16,834</td> <td>17,300</td> </tr> </table> <p>【特別購読数】国内：232 国外：3</p>		総数	月平均	月予定数	ページ数	1208	101	100	刊行部数	202,010	16,834	17,300																		
	総数	月平均	月予定数																												
ページ数	1208	101	100																												
刊行部数	202,010	16,834	17,300																												
2-5-2 . JOURNAL OF THE PHYSICAL SOCIETY OF JAPAN (JPSJ)	<p>Vol. 83 No.1~No.12 を刊行した。A4 冊子及び電子版。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>総数</td> <td>月平均</td> <td>月予定数</td> </tr> <tr> <td>ページ数</td> <td>3034</td> <td>252</td> <td>280</td> </tr> <tr> <td>冊子刊行部数</td> <td>6420</td> <td>535</td> <td>550</td> </tr> </table> <p>【掲載論文】 Letter 117, Full Paper 328, Short Note 16, Addenda 0, Comments & Reply 0, Erratum 11, Invited Paper 3, Special Topics 19</p> <p>【電子版の2014年1月-12月論文総ダウンロード数】303,837 【電子版ダウンロード、国内外の比率】国内44%、海外56% 【特別購読数】国内 176 (オンライン版 49、冊子版 127)) 国外 394 (オンライン版 178、冊子版 216)</p>		総数	月平均	月予定数	ページ数	3034	252	280	冊子刊行部数	6420	535	550																		
	総数	月平均	月予定数																												
ページ数	3034	252	280																												
冊子刊行部数	6420	535	550																												
2-5-3. PROGRESS OF THEORETICAL AND EXPERIMENTAL PHYSICS (PTEP)	<p>Volume 2014 Issues 1~12 を電子版で発行した。 掲載論文数：Paper 142 Letter 14 Errata 4 特集論文・招待論文 16 【電子版の2014年1月-12月論文総ダウンロード数】50,339</p>																														
2-5-4. JPS Conference Proceedings	<p>Vol. 1 Proceedings of the 12th Asia Pacific Physics Conference (APPC12) e-ISBN: 978-4-89027-101-6、480 ページ、論文、CD-ROM 版製作 Vol. 2 Proceedings of the International Symposium on Science Explored by Ultra Slow Muon (USM2013) e-ISBN: 978-4-89027-102-3、40 論文、紙版製作 Vol. 3 Proceedings of the International Conference on Strongly Correlated Electron Systems (SCES2013) e-ISBN: 978-4-89027-104-7、303 論文</p>																														
2-5-5. 講演概要集 (A4 判)	<p>第 69 回年次大会 (第 69 巻第 1 号)</p> <table border="1"> <tr> <td>分冊</td> <td>刊行部数</td> <td>本文ページ数</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>450</td> <td>167</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>1050</td> <td>301</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>1050</td> <td>217</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>1150</td> <td>271</td> </tr> </table> <p>※ほかに年次大会のプログラムとして 3 月増刊号ページ (本文) 部を刊行した。</p> <p>2014 年秋季大会 (第 69 巻第 2 号)</p> <table border="1"> <tr> <td>分冊</td> <td>刊行部数</td> <td>本文ページ数</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>400</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>900</td> <td>192</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>1050</td> <td>217</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>1100</td> <td>245</td> </tr> </table>	分冊	刊行部数	本文ページ数	1	450	167	2	1050	301	3	1050	217	4	1150	271	分冊	刊行部数	本文ページ数	1	400	51	2	900	192	3	1050	217	4	1100	245
分冊	刊行部数	本文ページ数																													
1	450	167																													
2	1050	301																													
3	1050	217																													
4	1150	271																													
分冊	刊行部数	本文ページ数																													
1	400	51																													
2	900	192																													
3	1050	217																													
4	1100	245																													

	※ほかに秋季大会のプログラムとして 8 月増刊号ページ（本文）部を刊行した。
2-5-6. 大学の物理教育（B5判）	第 20 巻 1 号（3 月）、2 号（7 月）、3 号（11 月）と 20 周年特別増刊号（20-S）を刊行 各号の刊行部数 1, 2, 3 号 1, 600 部 増刊号 18, 000 部 年間総ページ数 222 ページ
2-5-7. 年表（第二版）1877-2011（A5 判）	2014 年 3 月 20 日刊行 刊行部数 1, 000 部 ページ数 179 ページ

（附属明細 1）処務詳細資料
総会・役員会等に関する事項

3-1-1. 総会（開催日）	3 月 31 日
3-1-2. 監事会（開催日）	2 月 8 日
3-1-3. 理事会等（開催日）	<p>●理事会 1 月 11 日 2 月 8 日 3 月 7 日 3 月 31 日 4 月 12 日 5 月 10 日 6 月 14 日 7 月 12 日 8 月 2 日 9 月 13 日 10 月 11 日 11 月 8 日 12 月 13 日</p> <p>●会計理事会議 2 月 6 日 3 月 11 日 4 月 15 日 8 月 11 日（※） （※メール審議にて実施）</p> <p>●予算編成ワーキンググループ会議 8 月 22 日 10 月 29 日</p> <p>●財政問題対策ワーキンググループ会議 4 月 10 日 5 月 1 日 8 月 22 日</p> <p>●JPSJ 次期編集委員長選考委員会 6 月 14 日 7 月 2 日 8 月 2 日</p>
3-1-4. 委員会（開催日）	<p>●刊行委員会 2 月 5 日 4 月 18 日 6 月 10 日 8 月 25 日 10 月 20 日 12 月 11 日</p> <p>●会誌編集委員会 1 月 25 日 2 月 15 日 3 月 8 日 4 月 19 日 5 月 17 日 6 月 21 日 7 月 19 日 8 月 23 日 9 月 16 日 10 月 25 日 11 月 15 日 12 月 20 日</p> <p>●JPSJ 編集委員会 1 月 14 日 2 月 14 日 3 月 10 日 4 月 9 日 5 月 14 日 6 月 9 日 7 月 9 日 8 月 8 日 9 月 17 日 10 月 8 日 11 月 12 日 12 月 15 日</p> <p>●PTEP 編集委員会 2 月 5 日 4 月 7 日 6 月 20 日 9 月 24 日 11 月 19 日</p> <p>●PTEP 企画委員会 6 月 26 日</p> <p>●受賞候補等推薦委員会 2 月 15 日 7 月 19 日 9 月 22 日</p> <p>●物理教育委員会 2 月 7 日 5 月 9 日 8 月 1 日 10 月 10 日 12 月 12 日</p> <p>●大学の物理教育編集委員会 1 月 11 日 2 月 11 日 2 月 22 日 5 月 17 日 6 月 14 日 6 月 28 日 8 月 30 日～8 月 31 日 9 月 13 日 10 月 4 日 10 月 25 日</p> <p>●男女共同参画推進委員会</p>

	<p>3月15日 6月28日 9月27日</p> <p>●領域委員会</p> <p>5月21日 11月12日</p> <p>●事務局運営委員会</p> <p>1月11日 2月26日 8月2日 11月8日 (その他メール審議2回)</p> <p>●AAPS委員会</p> <p>4月26日</p> <p>●AAPS Bulletin小委員会</p> <p>7月25日</p> <p>●選挙管理委員会</p> <p>1月31日 7月8日</p> <p>●物理学史資料委員会</p> <p>2月6日 2月20日 3月8日 4月28日 7月11日 10月3日 12月6日</p> <p>●Jr.セッション委員会</p> <p>2月1日</p> <p>●第19回日本物理学会論文賞選考委員会</p> <p>2月4日</p> <p>●広報委員会 (メール審議1回)</p> <p>●HP運営小委員会</p> <p>2月1日 3月24日 5月10日 6月14日 9月13日</p>
--	---

契約・入札・他に関する事項

● 主な新規契約に関する事項

契約月日	相手方	契約の種類	期間 等
2014/2/14	(株)国際文献社	印刷製本	K6901～K7012に関する業務期間
2014/3/10	トムソン・ロイター・プロフェッショナル(株)	Citation Notice Service	2014/3月配信予定分より1ヶ月以内
2014/4/1	ITコーディネーター	コンサルティング	2014/4/1～
2014/4/17	(有)ミューリサーチ	英文校閲	2014/5/1～2015/3/31
2014/6/1	バイザー(株)	メール配信	2014/6/1～2015/5/31
2014/6/25	トムソン・ロイター・プロフェッショナル(株)	Citation Notice Service	2015/3月配信予定分より1ヶ月以内
2014/7/12	オックスフォード大学出版局	Addendum to the Publishing Agreement	～2017/5/31
2014/8/6	小宮山印刷工業(株)	印刷製本	2015/1/1-2015/12/31(自動更新有)
2014/8/6	小宮山印刷工業(株)	データ制作	2015/1/1-2019/12/31
2014/10/1	協和会計事務所	顧問契約	2015/1/1～2015/12/31
2014/11/8	物理教育研究会(APEJ)	協定書	2014/11/8～2015/3/31
2014/12/1	コンフィデンシャル・ドキュメント(有)	機密保持	2014/12/1～2015/11/30

● 入札に関する事項

- ・ Journal of the Physical Society of Japan (JPSJ) のデータ制作・印刷・製本
 公示日 2014年7月14日 入札及び開札日 2014年7月31日
- ・ 会員システムの構築 一式 公示日 2014年11月11日 説明会 2014年11月19日
 応札締切日 2015年1月9日

● 許可、認可および承認に関する事項（なし）

● その他の事項

- ・ (株)ジェーシーエスとの「会員データベースの構築・開発についての覚書」の合意解除覚書締結。
- ・ 成田倉庫株式会社との倉庫契約を2014年6月30日で解除。
- ・ 2014年決算業務をもって小谷野会計士事務所との契約解除。

(附属明細2) 会員の異動状況

会員種別	会 員 数		増 減
	2013年12月31日現在	2014年12月31日現在	
正会員	16,340 ¹⁾ (内：大学院生数2,598)	16,168 ²⁾ (内：大学院生数2,535)	-172 (内大学院生数-63)
学部学生会員	190	195	+5
賛助会員	90(210口)	94(214口)	+4(+4口)
計	16,620	16,457	-163

1) うち名誉会員 17、シニア会員 538。

2) うち名誉会員 17、シニア会員 677。

(附属明細3) 事務局の現況 (2014年12月31日現在)

職員16名は事務局と物理学系学術誌刊行センターに分かれており、派遣職員等を含む人員配置の内訳は以下の通りである。

事務局	職員13名 アルバイト1名 派遣職員1名
刊行センター	職員3名 派遣職員2名 JPSJ専任編集長1名 JPSJ専任編集委員1名 PTEP専任編集長1名

一般社団法人 日本物理学会
2014 年事業報告附属明細書
(2014 年 1 月 1 日～12 月 31 日)

・記載すべき事項 特に無し